

あべともこニュース



約36兆円の補正予算成立、継続したコロナ対策を

◆補正予算成立、その実効性は？

十二月二十日、今年度の補正予算が成立。総額は、約35兆9895億円。戦後最大規模でその多くは、新型コロナウイルス関連の対策にあてられ、18歳以下の子どもへの10万円相当給付等も盛り込まれましたが、果たして射的を射ったものであったのでしょうか。

補正予算は、本来緊急性が高いものに限定とされますが、政府案は、過去最大となる「防衛費」や「大学ファンドの拡充」も含まれています。

立憲民主党は、収入の減った医療機関や介護施設に対する抜本的な経営支援策、生活困窮者や学生を支援する予算、事業を守る為には、6兆8000億円の持続化給付金再支給や雇用調整助成金特例の延長等も含めて編成組み替え動議を提出しましたが、否決されました。

補正予算が、緊急性があるコロナ対策や国民の命・暮らし・事業を守り抜くために使われるよう監視していきます。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）
当選8回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこ子どもクリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会・沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長、
原子力問題調査特別委員会委員

あべともこ
公式Twitter
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko

あべともこ事務所
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会
入会のご案内及びボランティア
スタッフ募集中！



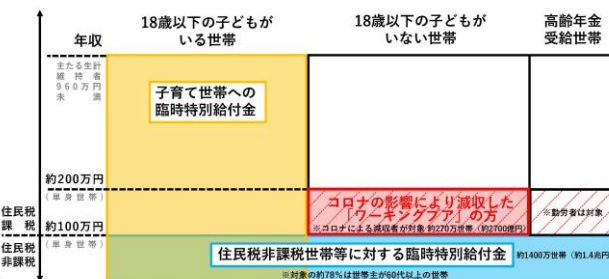
「コロナ困窮労働者給付金法案」を提出者の一人として、衆議院に提出(17日)

◆「コロナ困窮労働者給付金法案」を提出。

立憲民主党は、「コロナ困窮労働者給付金法案」を衆院に提出（17日）。政府は、住民税非課税世帯等に対する1世帯10万円の給付等を行う事としていますが、いわゆるワーキングプア（一般的に年収200万以下、月収約15万程度の世帯）の方々はここに含まれていません。

「働いても生活が困難」という、若者や女性が増えていると、都内の支援団体の方からのお話も伺いました。本法案審議と迅速な政府の対応を求めます。

コロナ困窮労働者給付金法案（通称）は、下記の赤色部分を対象としている



◆オミクロン株拡大、市中感染への対策
世界各地にオミクロン株が広がる中、我が国では海外からの入国を厳しくして検疫も強化、宿泊療養施設等への隔離も対象を拡大していますが、いまだに入国時は抗原定量検査である事も含めて十分とは言えません。そんな中、既に市中感染の事例も判明し、国内に蔓延させない為の予防的対策即ち、公衆衛生政策も必要です。

早期発見の為の下水道でのウイルス検査、各地域の衛生研究所での遺伝子解析などは急務です。感染が発見された地域では、ハイリスク集団（高齢者施設、学校、ゴミ収集などの職場等）での定期的PCR検査も不可欠です。

医療体制の整備は、一般医療を圧迫しないこと、早期の診断、治療体制（臨時病棟）などが引き続き課題です。ワクチン接種も前倒しとし、個人が選べる体制を作るべきです。